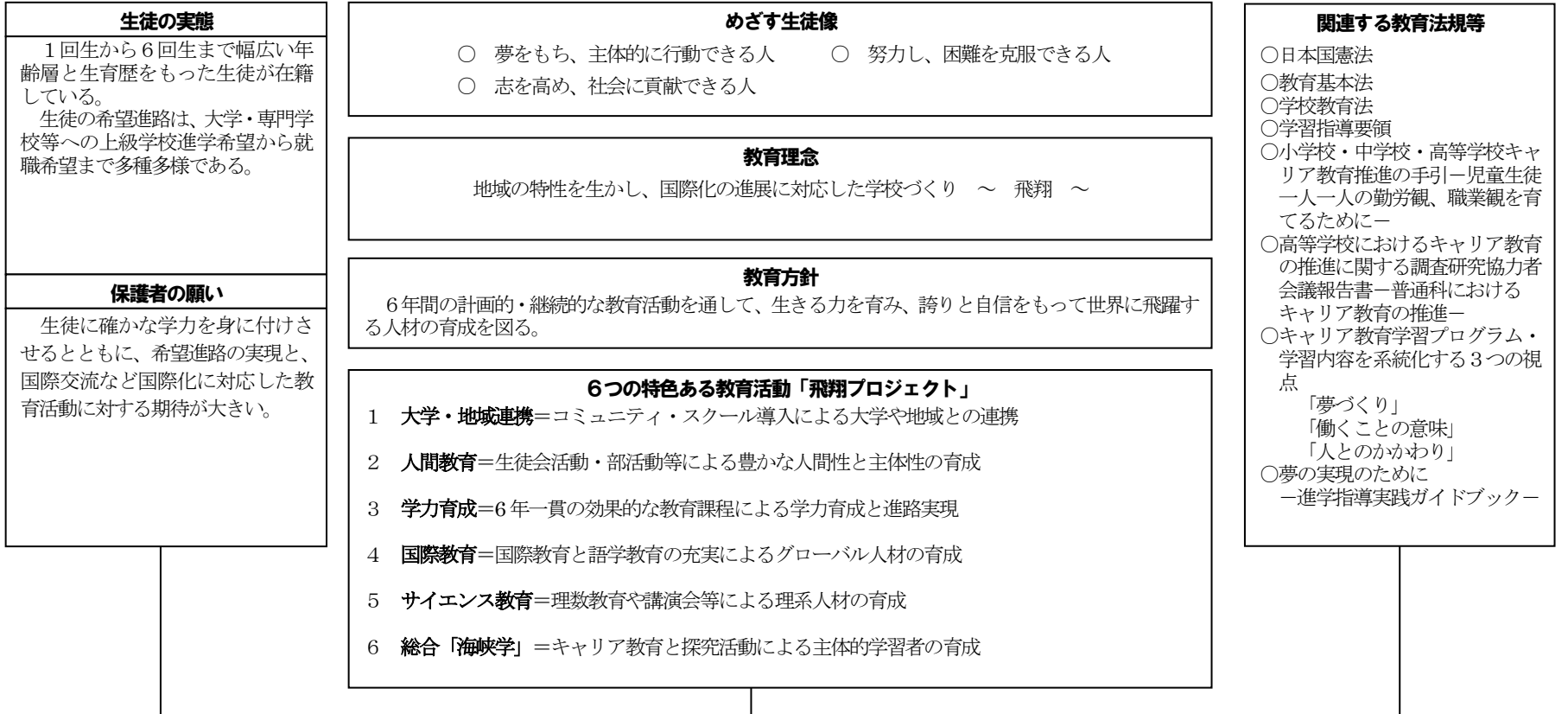


令和4年度 山口県立下関中等教育学校 キャリア教育全体計画（案）



キャリア教育によって育む生徒像

夢を育み、自己理解、自己実現を図る中で、社会に貢献していく力を備えた生徒
自ら進路を計画・選択し、人間関係を調整しながら問題を解決していく力を備えた生徒

キャリア教育指導目標

各教科・道徳・特別活動及び総合的な学習（探究）の時間など学校の教育活動全体を通して、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識・技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる。

各学年の重点目標					
自らの適性を発見し、大きな夢を持つ		自らの適性を理解し、夢に結びつける		自らの適性を生かし、夢の実現に努力する	
1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生
<ul style="list-style-type: none"> ・社会や地域に目を向け、積極的に関わることの大切さに気づく。 ・将来の生き方と進路選択について学ぶ。 ・キャリアパスポートを利用し、自己の特徴や個性を理解し自分の姿を知る。 ・市内の公立文系大学を訪問し、学ぶ目的や意義を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習を通して、働く意味や目的を学ぶ。 ・職業や資格を知る。 ・自分の能力・適性にあった将来の進路を考える。 ・キャリアパスポートを利用し、基礎・基本期における過ごし方を振り返る。 ・県内の公立理系大学を訪問し、学ぶ目的や意義を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の出前講義等を通して、将来の生き方と現在の学びとを結びつける。 ・キャリアパスポートを利用し、進路計画の立案と暫定的な進路選択を図る。 ・県内の国立大学を訪問し、学ぶ目的や意義を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターシップやボランティア活動を通して、職業観や社会奉仕の精神を醸成する。 ・自己理解の深化。現実的な進路の探索・試行を図る。 ・大学の出前講義等を通して、将来の生き方と現在の学びとを結びつける。 ・キャリアパスポートを利用し、充実・発展期における過ごし方を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等ゼミ訪問、出前講義を通して将来の生き方と現在の学びを結びつける。 ・学問について探究することを通じて、社会に参画する当事者意識を育む。 ・キャリアパスポートを利用して、将来の進路及び生活設計を具体的に立案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路を吟味するとともに、社会生活へ向け最終的な準備をする。 ・保護者や教員との十分な話し合いの上で、主体的に進路を選択し、実現に向けて積極的に努力する。 ・キャリアパスポートを利用し、確立・挑戦期における過ごし方を含め、6年間を振り返る。

各教科・領域等における指導内容						
各教科	特別活動			道徳	総合的な学習（探究）の時間	その他の教育活動
	学級・HR・チューター会活動	学校行事	生徒会活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業での成就感、達成感、自己有用感を育成する。 ・将来の職業生活に必要な基礎的知識・技能を習得させる。 ・上級学校への進学に対応できる高い学力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路適性の理解・吟味と進路情報の活用を促す。 ・望ましい職業観・勤労観の形成・確立を図る。 ・主体的な進路の選択・決定と将来設計の立案を図らせる。 ・教師の講話を通じて、社会の諸側面を考察する機会を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労の尊さや創造することの喜びを体得させる。 ・職業観の形成や進路の選択決定に関わる啓発的な体験をさせる。 ・ボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の充実や改善向上を図る活動や、ボランティア活動に参加させる。 ・諸行事の企画力、運営力を付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労の尊さや意義を理解させ、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの生き方の問題を自分自身の問題として受け止め、問題の発見と自ら解決を図る能力や態度を育成する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年LHRの時間を利用した外部講師等によるキャリア講演会を設ける。 ・生徒指導の充実を図り、生徒一人ひとりの規範意識を培う。 ・地域、近隣の学校との連携を図る。 ・小学校や大学との連携を図る活動を模索する。

【校内推進体制】

- ・キャリア教育を総合的に推進するために学力向上推進委員会を位置付ける。
- ・教員の研修会を実践する。
- ・各学年のキャリア教育推進担当を中心に、学習面・生活面の教育相談による継続的な支援を計画・実施する。

【家庭・地域との連携】

- ・学校からの便りや保護者会、授業参観等を通して、キャリア教育の取組について説明し、保護者や地域の方々の理解を深める。
- ・職場体験学習やインターンシップで訪問する事業所等へ学習の主旨を説明するとともに、協体制づくりに努める。

【学校間の連携】

- ・近隣の学校とキャリア教育活動を通じた交流や実施状況等についての情報交換を行う。
- ・体験学習で訪問したり、出前講義で来校する大学等へ、学習の主旨を説明したりするとともに、進路情報の提供を依頼し、生徒が主体的に進路選択できる体制づくりに努める。